

なかしべつ

2001
4月
No.316

女性部通常総会終了後「太極拳」の実技が行なわれました。



新たな交流と発展、 女性部の飛躍をめざして。



新役員の皆さん



全員で綱領を朗唱



総会が無事終了し、万歳三唱

第四十八回女性部通常総会が三月二十一日、農協大会議室で開催されました。

午前十一時、開陽地区・井上順子さんより開会宣言が行なわれ、全員で女性部綱領を朗唱後、横田純子部長の挨拶に続き、中司副組合長、普及センター・長野所長、青年部・清原部長の来賓の方々から祝辞が述べ

第48回 女性部通常総会



「太極拳」をみなさん真剣に学びました



られました。
 出席者五十二人のもと、俵橋地区の金子ひろみさん、中標津地区の高藤広美さんを議長に選出し、平成十二年度事業報告並びに収支決算報告、平成十三年度事業計画案など原案通り承認されました。
 総会終了後、昼食をはさんで標茶町の桑原さんを講師に招き「太極拳」の実技が約二時間行なわれ、皆さん心地よい汗を流していました。

新年度に向けた地区別懇談会を終えて

農業所得税申告作業も一段落した三月十三日から十五日迄、第二俣落西竹地区を皮切りに地区別懇談会を開催し、十一月末での農協事業概況や、新年度に向けた事業の取組みを説明し、皆様の意見をお聞きしました。

十二月の事業概況では、堅調な牛乳生産を背景に、農協貯金高は百十四億に達し、補給金を含めた販売品扱高では、乳代で前年より二億円の増、個体販売では全畜種共高値安定が続き、二億五千万円の増となり、合計で八十九億円の実績となっております。

また、購買品では、飼料、燃料が堅調な伸びをしていますが、「あるる」については、釧路、北見市での大型店の出店の影響や農産品の価格安が続いたことにより、供給高（前年比九・四割）で前年を下回っております。

しかし、下振を極める小売業界にあって、あるるの供給高の減少分はごく僅かであり、計画達成へ向け努力を続けております。

高温多湿など天候不順が続いた昨年は、畑作物の減収や野菜の品質不良という影響を与えました。生乳も含め販売物については、市場や顧客、また消費者から安全、安心、高品質なものが求められており、評価に相応しい価格で取引される時代に入っております。食料主産地として、良質な生乳や高品質な畑作物の生産は我々の義務と考えます。

新年度の取組みとしては、原種農場の管理運営移管、新たな資金の創設、出資金限度額の改定について説明を致しました。原種農場移管については、平成十

年度から町と協議を続け、十一年度から職員の出向による支援と対応を実施してまいりましたが、十三年度の収支見込みと町の支援策、また馬鈴しょ生産者の意志確認もあることから、農協による運営を提案したものです。畑作振興上必要な事業であること、生産者と責任をもった運営を願うという意見と共に理解を戴きました。

超低金利時代にあつて、従来の高金利の制度資金に対する借換や、皆様がより利用し易い資金をという要望に答え、農家経済改善資金及び農家経営安定資金の創設と、内容について説明致しました。何れも年利率二割、固定型であり出席者から賛同を得ました。懇談会説明後も、借換など需要も多くなつており、担当職員と相談の上、活用して戴きたいと思ひます。

次いで出資金限度額改定について説明致しました。平成二年に現行限

度額に改定して以来、相当の年数を経過し、経営移譲や予告脱退により出資金も減少傾向にあることから、将来に備えた財務基盤強化のため、最高限度額を五百万円としたいとの提案ですが、組合員の皆様の資産形成にも連なることから、全地区に於いて理解を戴きました。

組合員の皆様からは、道営事業の状況や個体識別事業の実施状況、中山間地等直接支払制度による事業、受精卵移植料金などに対して、意見質問が出されました。

本号が皆様に届く頃には、平成十二年度の事業実績も出ていると思いますが、総体としては当初計画を上回ると思われます。この事は、組合員の皆様の農協事業利用の結果に外なりません。今回の懇談会での皆様の意見についても理事会に於いて慎重に協議し、今後の対応に向けた意向を存じます。誠に有難うございました。

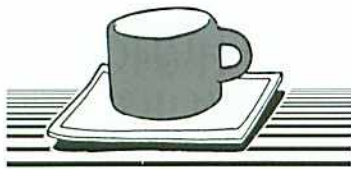
地域に貢献するJAを目指し

中標津町農協組合長 高橋 勝義

ようやく春の陽ざしが日増しに強く感じられる季節を迎え、組合員皆様におかれましても、新年度実り多い充実した年を期待し、忙しい日々を送られていることとご推察申し上げます。

さて、十二年度大きな動きとして、口蹄疫、雪印食中毒事故、畑作物の予想以上の不作など、その対応に右

組合長談話



往左往した感があります。また系統の出先機関の信連、共済連中標津支所の廃止等々さまざまな動きのあった一年でありました。当農協もこうした中で更に機能の充実、使命、期待を求められる状況に対応すべく、金融、共済窓口の充実と利用者ニーズに因應するため事務所の増改築を決断し、地域に根ざした事業展開の一翼を担う投資を行ない、期末において、計画を上回る順調な推移と評価をいただいております。こうした農協の取り組みが評価され、過日、第

四十八回全国JA金融推進大会において全国功労者表彰の栄を賜わりました。これも組合員をはじめ、広く町民からの支持と信頼があったからこそと心より感謝と敬意を申し上げます。今後共、各事業を通じて、地域に貢献するJAとして、また広く利用者に対して安心、信頼をいただけます様役職員一同、気概を持って努力していく所存ですのでお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。十二年度締め挨拶とい

畜農技術

うしの体をキレイにするしっぽの管理

北根室地区農業改良普及センター

しっぽの先は、糞尿で汚れやすく、それを振り回して体や乳房を汚します。特に、糞尿で汚れたしっぽは、乳頭との接触により乳頭が汚れ、乳房炎を引き起こす原因となります。しっぽにより牛体や乳房を汚さないための管理には、次のような方法があります。

○しっぽの管理

- 一、しっぽの洗浄（写真一）
- 二、しっぽのトリミング（写真二）
- 三、しっぽつり

・しっぽつりロープなどで吊る
・牛舎内以外での牛体の汚れ防止対策にはならない

四、断尾（写真三）

- ・しっぽにより牛体を汚すことは、一歩少なくなる
- ・切断する長さや方法に注意が必要
- ・破傷風感染の危険があります。

○断尾の方法

(一)断尾の位置

外陰部の下端から握り拳二つ分くらい下のところで切断します。これから大きくなる牛の場合には、しっぽが伸びることを考慮して、短めに切断する必要があります。

(二)断尾の方法

①ゴムバンドによる切断

断尾する位置に伸縮性の強いゴムバンドをはめます。この状態で三から五週間放置すると、しっぽは自然

に落下します。（写真四）

②カッターなどによる切断

ゴムバンドをはめて一時間もすると、はめたところは、血が通わなくなり麻痺状態になります。その部分をニールカッターなど、素早く切り落とせるもので切り落とし、ヨーチンで消毒します。

(三)断尾の注意点

①適切な長さ

中途半端に長くしてしまうと、野球のバット同然の凶器と化します。反対に、短すぎるとしっぽの先端が陰部に入り込み汚れ、炎症・感染の

おそれがありますので注意が必要です。

②ハエなどの発生を防止する

断尾後は、ハエを追いなくなりますので、ハエの発生を抑える環境整備が必要です。

③破傷風の感染

切断部位が壊死し嫌気的な条件ができたために、破傷風菌の感染をうけるケースがあります。断尾をしたときに必ず発症するわけではありませんが、破傷風ワクチンの接種なども検討して下さい。



写真1



写真2



写真3



写真4

病気、管理の仕方を学びました。

馬鈴しょ栽培講習会

平成十三年三月十二日、中標津町農協中会議室において、中標津町農協馬鈴しょ振興会主催で馬鈴しょ栽培講習会が開催されました。

安達会長の開会挨拶で講習会が始まり、最初に道立北見農試の馬鈴しょ科、千田圭一研究員から、そうか病対策と馬鈴しょ栽培について講演があり、そうか病抵抗性品種の特性をスライドを見ながら紹介されました。

新品種「スタークイン」と「ユキラシャ」の二種類で、特性は次の様になっています。

- ◎スタークイン特徴
 - ①そうか病抵抗性品種で発生率は三〇％位あるそうです
 - ②セン虫抵抗性品種です



- ③熟期が遅い（中性～中晩性）
- ④皮色（白黄色）肉色（黄白～淡黄色）
- ⑤健全株にもウイルスの症状に似た退緑斑紋が現れます
- ◎ユキラシャ特徴
 - ①そうか病抵抗性品種では一番強い品種です。粉状そうか病に強い
 - ②皮色（褐色でラセット皮）肉色（白）

- ③休眠期間が長く貯蔵性に優れています
 - ④裂開が発生する事があります
 - ⑤セン虫感受性です
- 以上の特徴がありますが「ユキラシャ」は、食用販売には課題が残ります。
- 最後に、そうか病対策としての実証試験が続けられていますが、輪作体系と土壌のPHを下げる事も必要との事でした。また、ムサマルの食味が良い事から見直して欲しいとの要望がされました。



- 次に、北根室地区農業改良普及センター富沢普及員から、ジャガイモシスト線虫発生状況と対策について話され、次の対策を進めて欲しいと提言されました。
 - ①抵抗性品種の栽培（六〇％～九〇％の減少）
 - ②人為的な伝搬、汚染の防止（農機具移動、土砂の移動には注意）
 - ③非寄生作物（えん麦、牧草、てん菜など）の栽培。三〇％の減少
 - ④殺センチュウ剤（薬剤）の利用（センチュウの増殖を抑える）
- 講演の後、質疑応答が活発に行なわれ有意義な講習会となりました。

防除体制、管理を万全にし、豊作の秋を迎えましょう。

てん菜栽培講習会

平成十三年三月九日、レストラン河亭において、中標津町農協てん菜生産振興会主催でてん菜栽培講習会が開催されました。松田会長の挨拶で始まり、ホクレン根拠原料所の田中所長からてん菜栽培技術についての講演があり、育苗管理時期の温度管理、立枯れ防止などに十分注意を払って欲しいと説明されました。また、昨年の褐斑病、根腐病など発生しましたが、防除体制を万全に行なって欲しいと強調されました。

講習会終了後は、昼食を兼ねて親睦を深め、今年のビート生産が豊作である事を願って終了しました。

春の陽射しを浴びて、芽が出揃っている頃。

ビート育苗プラント操業



ビート育苗プラントが三月十六日から始まり、途中、雨のため一日休んで十日間のプラント稼働を無事終えました。

本年度のビート作付は十九戸で、約百三十八畝を予定しています。育苗プラントでは、バクト苗の希望者にはポット土に菌を混入させ、健全育苗を目指し行なわれました。

今頃は、芽が出揃っている事でしょう。温度管理に十分気配りし、強い苗に育ちますように。

乳用牛の改善などのアドバイス。

平成13年中標津乳牛改良同志会勉強会



中標津乳牛改良同志会の今年度一回目の勉強会が、酪対の協賛をいただき三月二十六日J A大会議室にて開催されました。

昨年、好評をいただいた勉強会でしたので、今回も講師に黒崎尚敏氏（トータルハーブドマネージメントサービス代表）を迎え、「根室酪農に於ける

現状と今後の課題」をテーマに、今、根室管内酪農家におかれている乳用牛の状態、生産性、意識の持ち方などから改善へのアドバイスが事細かく講演されました。

今回も参加された方々から好評を得ましたし、次回も企画していますので、どしどしご参加下さい。

自分でつくったバターの味は格別！ 第12回J Aホルスタインクラブ定期総会

第十二回中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会が、雪印乳業㈱中標津工場研修室にて開催されました。開会式を終えてから父母は定期総会、会員は第十七回スプリングスクールを行ないました。

定期総会については、満場一致で可決されました。その他で根釧合同サマースクールが中標津で開催されるので、父母の参加協力的重要請を金子運営委員長からありました。

一方、スプリングスクールは、普及所の奥泉氏の講師でバター造りを体験しました。牛乳を分離した後、ペットボトルなどに入れて振っている姿は、真剣でした。出来上がったバターをパンに付けて試食した味は、格別に美味かったです。午後からは、親子親睦のボウリングを行い、ガターやストライクが出るたびに盛り上がり上がっていました。

■新入会員大募集！

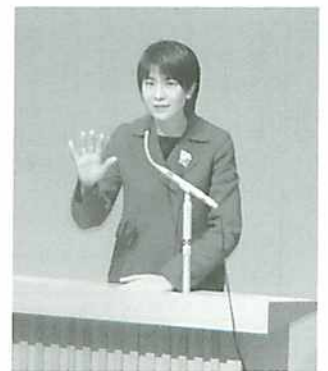
中標津ジュニアホルスタインクラブでは、新入会員を募集しています。牛について学んだり、キャンプをしたり、収穫祭をしたり四季に応じた行事を行なっている楽しいクラブです。小学生から高校生までの方なら誰でも入会出来ますので、入会希望者、興味のある方はぜひご連絡下さい。

中標津ジュニアホルスタインクラブ事務局

J A 中標津・家畜改良課・鷺見 ☎213275



「農村に新しい風を求めて」 農業後継者対策講演会



中標津町農業後継者対策協議会主催の農業後継者対策講演会が、三月十八日中標津経済センターコミュニティホールで開催され、農業後継者や結婚対策相談員、関係者などが真剣に耳を傾けました。

講師には、フリーキャスターとして活躍中の林美香子氏があたり、親の教育、地域の受け入れ環境など、仕事で各地域取材する中で、都市女性を迎えるための阻害要因となっている課題を含めて講演されました。

特に、親があまりしつかりすぎると子供がいつまでも自立出来ないことや、親と息子が共同経営者として相談する事の重要性、地域としてマイナス要因の情報発信をさける事など各地域での事例を紹介しながら話されました。また、結婚後のバックアップも大切な事で、お嫁さんの仲間づくりを地域の中で作って行き、その事が新たに都会の人を運んでくる事につながるかと結びました。



食生活に「豆」を 摂り入れて

北根室地区農業改良普及センター

暮らしの 知恵袋

豆類は、糖質、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラルなどを抱負に含み、古来から極めて質の高い食品として、さまざまな加工や調理を加えながら、世界中の食卓に欠かせないようになってきました。さらに、食物繊維をはじめ、その他の種々の機能性が注目されるようになりました。

▼昭和三十年代

我が国の経済が高度成長期に入り、所得の大幅な向上や食品工業の発展により、インスタントラーメンやインスタントコーヒーに代表される各種加工品が普及し始めました。また、学校給食に啓発されたパン食の家庭での普及や、農業基本法が指し示した畜産物や果物の生産物を伸ばす、いわゆる農業生産の選択的拡大という政策もあいまって、肉類や牛乳などの消費の急増に代表される食生活の洋風化や多様化の時代を迎えました。

▼昭和四十年代

経済の高度成長期が続き、食品をめぐる技術の分野では、科学技術庁のワールドチェーンの研究が引き金となって、食品の冷蔵・冷凍技術の利用が進み、食品の生鮮での流通の増加とともに家庭用の電気冷蔵庫が普及し、バラエティーに富んだ食品の開発・普及が進みました。

▼昭和五十年代

女性の社会進出の増加などあいまって、加工食品の生産拡大と多品種・少量生産化が急速に進みました。

▼昭和六十年代

バブル経済の中で飽食の時代を迎

え成人病(当時の名称)が増加し、健康・安全志向が急速に高まる一方、子供や若い男女を中心にコンビニエンスストアや、自動販売機でのスナック菓子や、清涼飲料水の飲食が増加し食生活の上で、いろいろな問題を投げかけるようになりました。

▼平成

バブル経済の崩壊後も食生活については同様の傾向が続き、改めて食生活を見直し、食品の評価が課題となつていきます。

▼今後の食生活のあり方

FAO(国連食糧農業機関)では、アフリカのたんぱく質の不足した食生活を改善するために、豆の摂取を勧めています。同時に、穀物と豆を主体としたインドの食事を、栄養的に満足なものとして評価しています。また、アメリカでは、肉を減らして大豆などの豆を摂取することを勧めています。栄養が足りない地域も、栄養が過剰な地域も、キーワードは「まめ」です。

日本でも、食生活の変化などから、糖尿病や心筋梗塞など欧米型疾患が、成人だけでなく若者にまで増加しています。

米に不足がちなビタミンB1を始めとするビタミン類、カルシウム、鉄、亜鉛などのミネラルなどが、「まめ」を一緒に摂取することにより補充されます。(財団法人日本豆類基

▼うずらビーンズカレー

※作り方

①玉ねぎ、にんにく、人参は皮をむいて、セロリは筋をひいて、粗みじ

ん切りにします。

②牛挽肉に塩こしょう各少々、カレー粉小さじ一をからめます。

③油を熱して①をよく炒めます。(約二十分)。野菜から水分が出て、炒めるうちに水分がなくなつたところでカレー粉大さじ一杯を入れて炒め合わせます。牛挽肉も入れてさらに炒め、豆の煮汁とスープを注いで木べらで鍋底からよくまぜ、十五分くらい煮て豆も加え、トマトケチャップとチャツネを入れて、塩味をみて不足を補い、さらに十分くらい煮て仕上げます。温かいごはん、たっぷりかけていただきます。

カレー用の肉を使用しても良い。牛、豚、鶏肉などを使うときは二倍くらいに切り、煮込む時間は十分くらいにし、仕上げは、十分くらいです。薬味はらっきょう、紅生姜などです。

うずらビーンズカレー

材料	
うずら豆(下煮したもの)	山盛り1カップ
豆の煮汁とスープ	6カップ(固形スープの素)
玉ねぎ	1個(300g)
にんにく	2片
セロリ	1本(80g)
人参	100g
牛挽肉	100g
カレー粉	大さじ2
小麦粉	大さじ1強
トマトケチャップ	大さじ2
チャツネ(マンゴージャム)	5g
油	大さじ4
塩・こしょう	各少々
白飯	80g

新職員の紹介 (准職員)



購買部営農資材課給油所係
平井 麻裕子



購買部営農資材課給油所係
鈴木 かおり



生活部生活店舗課店舗係
伏見 さおり



生活部生活店舗課店舗係
成田 幸一



営農部家畜改良課家畜改良係
佐々木 尚洋



管理部管理電算課管理電算係
柳田 可奈子



購買部営農資材課給油所係
中本 康太



購買部営農資材課生産資材係
佐藤 秀司

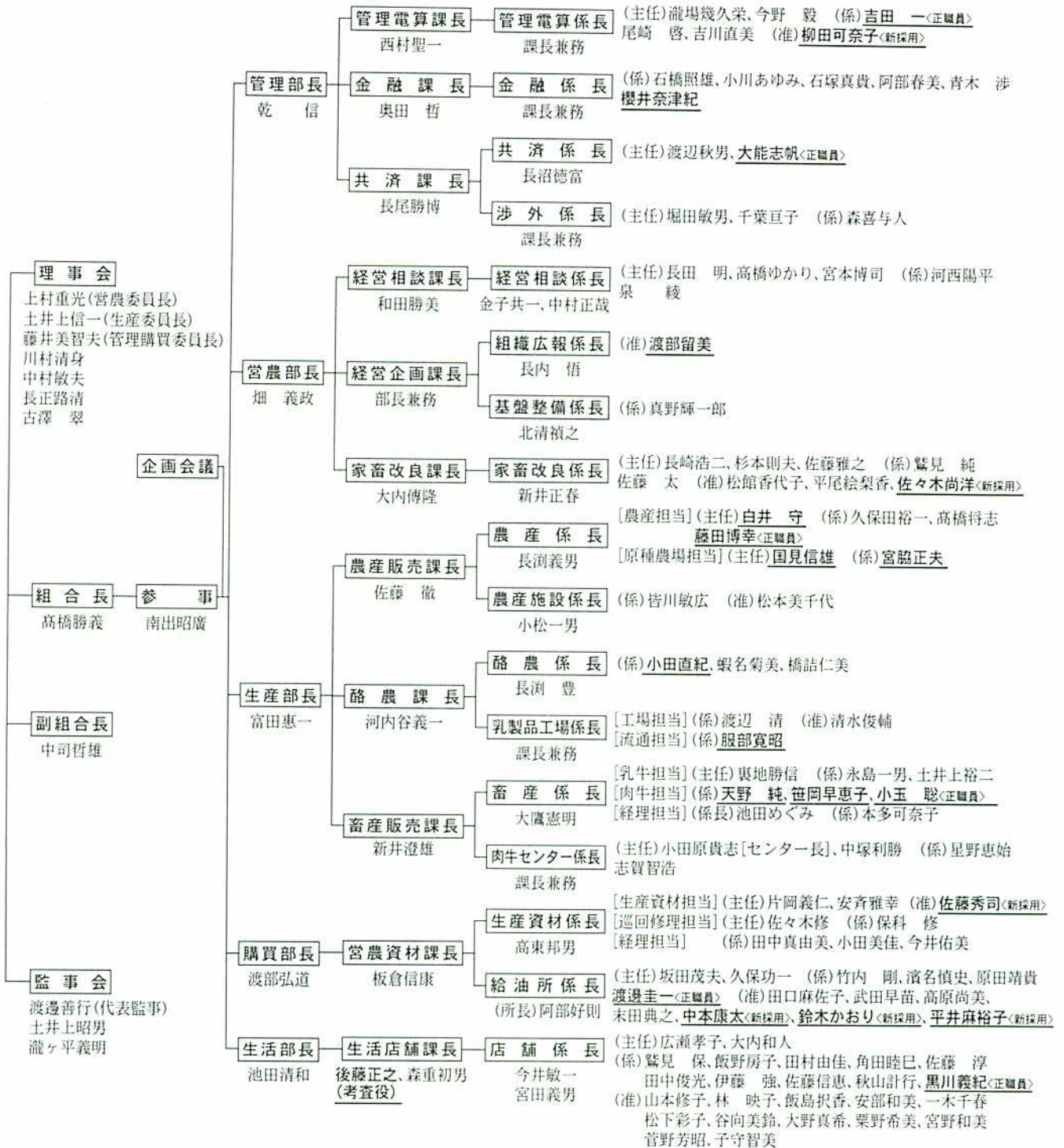
平成13年4月2日発令

新採用職員を紹介いたします。
皆様よろしくお願ひします。

退職職員

山田 勝二
生産部酪農課
山口 耕治
生産部農産販売課准職員

機構図と職員配置図



	男	女	合計
正職員	85名	22名	107名
准職員	8名	23名	31名
合計	93名	45名	138名

太字=移動・昇格者

機構改革=流通促進係を廃止し乳製品工場係に統合

全国功労者表彰に 輝きました。

第48回 全国JA金融推進大会

第四十八回全国JA金融推進大会
(主催・農林中央金庫、(社)全国信連
協会)が二月二十一日、東京・大手
町のJAビルで開催されました。

当日は、農村地域金融優良事例推
進事業として、農林水産省が選定し
た農林水産大臣表彰、同省経営局長
表彰の計四組合が発表され、組合金
融推進功労者八十九人に感謝状が贈
られました。

当農協からは、高橋組合長が出席
し功労者表彰の栄を賜りました。



口蹄疫侵入防止の徹底を!

現在、英国、台湾をはじめ諸外国で口蹄疫の発生が続いています。

我が国では、口蹄疫の発生した国からの家畜や畜産物などについては、輸入禁止、または停止の措置がとられています。本道への侵入防止を徹底するため、次のことを守りましょう。

- ・農場への部外者の立入制限の徹底
- ・海外渡航する際には、畜産関係施設への立入は自粛
- ・道内産の牧草や稲わらを給与
- ・輸入粗飼料は、安全性の確認されているものを給与
- ・農場出入り口には、踏み込み消毒槽を設置
- ・畜舎や運搬車両は、定期的な消毒の実施
- ・家畜を導入したときは、隔離飼育して異常の有無を観察
- ・異常畜を発見した場合は、獣医師、家畜保健衛生所に届出



口蹄疫に有効な消毒薬
4%炭酸ソーダ、複合次亜塩素酸
0・2%クエン酸、生石灰、消石灰
グルタルアルデヒド

平成13年度 町営牧場夏期放牧希望牛の取りまとめ

下記のとおり開陽台牧場の入牧を予定しておりますので、入牧を希望される農家は中標津町役場農林課、または町営牧場までご連絡願います。

*入牧受入れ牧場 中標津町営牧場

*取りまとめ期日 平成13年4月23日(月)まで

詳しい案内については、中標津町役場農林課畜産係、または開陽台牧場までご連絡願います。

農林課畜産係 電話3-3111・FAX3-5333
開陽台牧場 電話4-2268・FAX4-2268



第十二回理事会の経過

開催日時 平成十三年三月五日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、自己査定要領及び自己査定マニュアルの改正について
- 二、良質乳生産奨励対策事業実施要領の変更について
- 三、旧店舗建物の処分について
- 四、金融課の固定資産（工具・器具・備品）処分について
- 五、農協前給油所改造工事の固定資産取得について
- 六、農協事務所増築工事の固定資産取得について
- 七、信用広告塔の固定資産取得について
- 八、農協有バルククーラー事業固定資産の取得について
- 九、農協有パイプライン事業固定資産の取得について
- 十、農協有馬鈴しょ一時貯蔵及び地力向上施設の取得について

十一、平成十二年度分贈与税納税猶予に伴う債務保証について

十二、酪農課の車両リース契約について

〈協議事項〉

一、平成十三年度道営・公社事業実施に伴う取り進め方について

〈報告事項〉

- 一、家畜改良課の一月末実績について
- 二、平成十二年度一月末購買事業概況について
- 三、平成十二年度一月末店舗事業概況について
- 四、平成十二年度一月末信用・共済事業概況について
- 五、組合員の加入状況について
- 六、巡回修理の料金状況について
- 七、中山間地域等直接支払制度の進捗状況について
- 八、平成十二年産中斜里でん粉工場収支決算について
- 九、生乳生産状況について

第十三回理事会の経過

開催日時 平成十三年三月二十九日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、仮基準日（十二月末）における自己査定結果について
- 二、平成十二年度収支決算見込みについて
- 三、職員の期末手当について
- 四、役員報酬審議会の答申について
- 五、FAXのリース契約と賃貸契約の締結について
- 六、生活部の車両リース更新契約について
- 七、受精卵移植技術料の改定について
- 八、オートサンプラーのリース契約について
- 九、交雑種個体識別事業の実施について
- 十、各種資金の借入申込について
- 十一、平成十三年度各部の事業計画骨子（案）について
- 十二、平成十三年度収支予算計画について

十三、原種農場運営委員会の設置について

十四、でん粉工場施設の活用について

十五、コンプライアンス・マニュアルの制定について

十六、金融商品の勧誘方針の策定について

十七、理事の補欠選挙の実施について

〈協議事項〉

一、地区別懇談会の主な意見について

二、国債・投信窓販業務取扱の対応について

三、棚卸監査の日程（時間割）について

〈報告事項〉

一、平成十二年度農業所得税・消費税の申告状況について

二、平成十二年度酪農ヘルパー実績について

三、平成十二年度各種補助事業・指定事業実績報告について

四、生乳生産状況について

五、員外監事設置要件の引き下げについて

六、平成十一年度の出資増口について

七、家畜個体識別事業に伴う繁殖台帳の変更について

八、人工の受胎状況について

九、雪害による災害見舞金の支出について

十、加工原料乳生産者経営安定対策事業について

十一、(有)牧舎との「営業権及び営業財産使用賃貸借契約」の終了について

十二、今後の行事予定について

3月の組合日誌

- | | |
|-----|---|
| 1日 | 税金申告作業～15日まで |
| 2日 | 第11回理事会
職員組合執行委員会 |
| 7日 | 農業講習会 |
| 8日 | 女性部三役会
種子部会定期総会
農協酪対役員会 |
| 9日 | 職員採用試験 |
| 10日 | 第12回理事会 |
| 12日 | 和牛振興会役員会
CPP研究会
馬鈴しょ栽培講習会 |
| 13日 | 第6回熟年会役員会
地区別懇談会 |
| 14日 | 第3回畑作役員会 |
| 15日 | グリーンショップパート面接
採用試験
第11回青年部調査広報委員会
第12回青年部役員会 |
| 16日 | 役員報酬審議会 |
| 17日 | 職員採用面接試験 |
| 19日 | 女性部総会準備 |
| 21日 | 第48回女性部通常総会
SS新人講習 |
| 22日 | 第13回青年部役員会 |
| 23日 | 中標津集落打合せ
第1回青年部新三役会
融資協議
第2回乳牛改良同志会役員会 |
| 24日 | 第10回営農委員会 |
| 26日 | 第5回管理購買委員会
第7回熟年会役員会
乳牛改良同志会・酪対合同講習会 |
| 27日 | 第9回生産委員会 |
| 28日 | 第5回酪農ヘルパー役員会
企画会議 |
| 29日 | 第13回理事会
第1回青年部新旧役員会
チーム和田打合せ |
| 30日 | 後継者結婚対策協議会役員会
CDP研究会
畜環リース見積合わせ報告会
中標津ETA勉強会 |
| 31日 | 棚卸監査 |

大地の四季



〈雪どけ〉

夕暮れの進む中、
搾乳の時間に差し掛かろうとする時、
牧草地に出来た水たまり。
水面を赤く照らし、
天地創造の世界を醸し出してくれた。

写真・文提供 小出 清信